

# 札幌学院大学 国際交流センター

NEWS LETTER No. 40

2018年10月26日

発行：国際交流センター

9月の大地震から、もうすぐ2か月が過ぎようとしています。私たちの日常生活は、もうほとんど不便がな  
いくらい普通に戻りました。しかし、北海道にはまだまだ以前ほど観光客が戻ってきていないと言われてい  
ます。

後期の交換留学生たちも不安があったかと思いますが、地震からほどなくして来日し、本学での日常に滑  
りこんでくれました。すべてが平穏であってこそ国際交流なのだと思います。

これから冬に向かい、また寒さやインフルエンザなどの感染症への対策に追われるとともに、年末年始の  
忙しさで忙殺されていくかもしれません。地震も含めて今年起こった様々なできごとを、隙間の時間に各  
自分で振り返ってみてはいかがでしょうか。来年をもっと良い一年にするための、早めのスタートとして…



## ①マレーシア TAR 大学受入プログラム



手巻き寿司に挑戦！

マレーシアにある本学の協定校 TAR 大学より、学生 10 名と引率 3  
名が、10 月 7 日に来学、13 日まで滞在しました。

期間中は、今年の 2 月、8 月に(それぞれ別プログラムです)マレーシ  
アに派遣された本学の学生が、バディとして TAR の学生たちをサポート、活発な交流を行いました。

一行はたこ焼きや手巻き寿司といった日本の食を味わったり、札幌

市内や北海道内を旅行し、北海道の自然を満喫したり、産業などを目にする機会を持ちました。マレーシ  
アの学生たちは温泉は初めてということで、最初は緊張したようですが、気に入って夜と朝に楽しんだ人た  
ちもいました。

意気投合した双方の学生たちが、別れを惜しんで泣いてい  
る姿は印象的でした。このつながりをぜひ保ってほしい  
と思います。タイのプログラムのように長く続くものになっ  
てくれたら何よりです。マレーシアに行ってみたいという方、  
国際交流センターにご相談ください。



北湯沢の温泉にて。この後は洞爺湖などへ。

## ②「みんなおいでよ！ 2018 江別世界市民の集い」

毎年、江別市で開催されている大規模なお祭り、「世界市民の集い」。その名の通り、江別で学んでいる留学生、在住している海外出身の人が集まり、各国料理(タイ、南米、ベトナム、韓国その他!)を作って販売したり、パフォーマンスを披露します。日本独自の音楽演奏などもあります。



今年、本学では台湾のタピオカを使ってミルクティーとカルピスを会場販売しました。非常に好評で見事に売り切れになりました！

また、日本の着物を着付けしてもらって写真を撮ったり、茶道を体験するコーナーもあり、会場内はハロウィンの雰囲気も満載で、留学生たちにも色々楽しんでもらえたようです。

## ③国際交流のハロウィンパーティー

10月30日、国際交流ではハロウィンのパーティーを開催しました。留学生や日ごろから国際交流に関わっている学生が、思い思いの衣装をして参加してにぎわいました。

パーティーではお菓子や軽食を食べながらおしゃべりしたり、カフト、ジェスチャーなどのゲームもして盛り上がりました。



昨年までは、近隣の一般の住民も招いて比較的大きな規模で行なっていたのですが、今回は学内の国際交流の関係学生・教職員のみでこじんまりしたとはいえ、和気あいあいの良い雰囲気でした。

このあとは、年明け1月9日から始まる「日本語教育・文化体験プログラム(冬)」に向けて準備を進めていきます。

国際交流のホームページもご覧ください！ →

<http://www.sgu.ac.jp/iec/>



Instagram インスタグラム始めました！ sgu\_global

